

2016年6月28日

祝「浦高戦」復活、めざせ「関東大会」、がんばれ湘南高校！

(会費および現役支援のお願い)

湘南バレーボール部湘友会 OB・OG の皆さま、初夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

毎年この時期になりますと、真夏の日差しの外コートで、汗だく・泥んこになりながらも帰りに冷たいジュースを飲みながら仲間と「どうでもいい」会話を交わした、懐かしいあの日を思い出します。苦しくとも楽しい日々と、かけがえのない仲間があったからこそ、今の自分があるのだなとつくづく思います。

さて4年前から湘南バレーボール部湘友会の会員である吉田氏(55回生)が湘南高校に着任し、同時にバレーボール部顧問に就任されました。吉田顧問のもと、男女ともに「自ら考え判断し行動する」伝統が復活、順調に力をつけて参りました。今後さらなる強化のためには強豪校との試合を重ねるのが一番の早道であることは言を俟ちません。

幸い、昨年秋から浦高 OB との間で「浦高戦」復活が話題に上り、今年4月に実現しました。加えて東京大学主催の進学校間での練習イベント(2月)にも参戦、高崎高校(群馬県準優勝)、栄光学園(神奈川県ベスト16)、開成高校(東京都ベスト16)などの強豪校とも交流を深めることができました。さらにこれがご縁で5月には開成高校への武者修行も実現しました。女子についても横浜国立大学での交流戦など、より高いレベルでの経験を積んでおります。これら現役の最新情報は次回の会報でご紹介します。

選手諸君のモチベーションは高まり、「関東大会に出たい」「ベスト8に進出したい」といった会話も当たり前になってきました。一方周囲の学校では、専門の教員に加え推薦入試で有望選手を採用し強化を進める動きも増加しており、こういった状況の中、昔のように自ら考え行動するだけでは勝利を得ることが難しくなっています。そんな中湘南バレーボール部湘友会では、現役の自主努力による強化を尊重しつつ、夢の実現のための望ましい支援方法を日々議論しております。

いよいよ今年も8月6日土曜日に恒例のバレーボール祭・総会が開催されます。皆さまには是非母校の体育館へお越しいただき、昔日我々自身が先輩方から頂いた激励と勇気を現役諸君に直接伝えて頂ければと思います。そしてその折に湘南バレーボール部湘友会会費と共に、できれば現役部員への支援を頂戴できればと考えております。

皆さまからお預かりした貴重な年会費・寄付金は、毎年現役激励金(10万円)、会報発行費・通信費、バレーボール祭・総会費等に使用しております。＜追記資料＞として吉田顧問からの現役激励金に関するご報告を掲載いたしました。ご覧の通り、男女バレーボール部の運営をギリギリ成り立たせる重要な財源として活用されております。県の厳しい予算事情、さらには強化のための遠征も増える中、当会としては現役激励金の増

額を検討して参りましたが、前年度より「現役支援費」を別に設け、従来寄付金としてお預かりしてきた金額も含めて、現役支援の拡充に使用していくことになりました。

なお前年度（平成 26 年 7 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日）に頂戴した現役支援（寄付金）の詳細は、昨年の会報「湘南バレーボール部湘友会収支報告書」に示した通りですが、多くの皆様から総額 18 万 3000 円を受領いたしました。ありがとうございました。

なお支援を頂いた会員のお名前は、会報「寄付を頂いた会員のリスト」に掲載しております。

ご提供頂きました支援の中から、現役側の要望を踏まえ、29,300 円を支出し、以下の器材の購入に充当しました。

ラダー ×1（トレーニング機器）	9,700 円
アジリティデスク ×3（トレーニング機器）	17,100 円（5,700 円×3）
教本バレーボール編 ×1	2,500 円
計	29,300 円

今後ともご提供頂きましたご支援は、現役のニーズに基づき、多くの学生に長期間役立つ物品の購入・支援となるよう活用していく所存です。OB・OG の皆さまにおかれましては、上記事情をご賢察のうえ、年会費・現役支援（寄付金など）へのいっそうのご助力を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。なおバレーボール祭・総会当日のご納入の他、銀行振込、郵便振込も可能となっております。

以 上
湘南バレーボール部湘友会幹事一同

年会費： 御一人 3 千円。

現役支援費または寄付金： 金額の定めは特にございませぬ。

銀行振込先：横浜銀行藤沢中央支店（店番 618） 普通預金 0219668

湘南バレーボール部湘友会 会長 尾高 忠昭

郵便振込先：00270-1-66410 湘南バレーボール部湘友会

< 追記資料 >

【吉田顧問のご報告 現役激励金について】

日頃より OB・OG の皆さまから寄せていただきご支援には深く感謝申し上げており、まずは厚く御礼を申し上げます。毎年総会で頂戴している激励金 10 万円の使途についてのご説明、ご報告をさせていただきます。ご一読いただきご理解を賜れたら幸いです。

今も湘南高校は運動系、文化系ともに部活動が大変盛んで、生徒が複数の部に所属する、いわゆる兼部は当然です。全校生徒の部活動加入率は 200% を超え、県下でも群を抜いています。その結果として限られた部活動予算(校費)を取り合うこととなります。バレーボール部に配分される金額は、概ね年間 150,000 円です。(予算に関しては男女合わせてひとつの部とされています)日本バレーボール協会への個人とチームの登録費さらに公式戦参加料を差し引いた 70,000 円程度が物品購入に使える金額となり、その大半が定価 8,000 円弱のボール(男女で使用メーカーが異なります)の購入に充当され、さらに数年ごとにネットやボールカゴなどの備品の更新が必要になります。

激励金の主な使途としては、体作りのためのアミノ酸やプロテインなどのサプリメントと熱中症対策の粉末スポーツドリンクの一部 1 本数百円のテーピング類および湿布や救急用品などの消耗物品の購入、また女子の外部指導者には練習試合の遠征時の交通費や先方への手土産代を補助費として支出しています。また今年度は本校が会場となった関東大会予選会直前にアンテナと圧力計が破損し、アンテナを急遽購入するなど、さまざまな点で部の運営を激励金に大きく依存しているのが現状です。

受益者負担として生徒からもっと徴収すべきというご指摘もあると思います。合宿では期間外に使う物品まで買えるように、多めに徴収するなどの運用をしていますが、PTA より決算の監査を受けるためあまり極端なことはできません。またこの一年、男子では練習試合だけでも東京大学、上智大学、浦和高校、開成高校などの県外も含めて 20 数回の遠征を行い、本校での対戦も合わせるとその数は延べ 91 校、380 セットに及びました。これに公式戦を加えた交通費、ユニフォーム 2 着とチームジャージ、T シャツ代、2 回の合宿費などを合わせると一人当たり年間 10 万円以上がすでに個人負担となっています。昨今の湘南生は体育祭を筆頭に多くの行事でのオリジナル T シャツ代や、クラスの徴収金、非公式のクラスキャンプなど、昔にはなかった出費が数多く発生している現状があり、今後遠征費が膨らむとなれば、生徒への負担増は極力避けつつ、激励金を有効活用させていただきたいと考えております。

現役たちも激励金に加えて公式戦への応援など、OB・OG の皆さまからの物心両面のご支援とご厚情を目の当たりにし、心からありがたいと感じており、何とか成績で報いたいと日々練習に励んでおります。私も OB の一員として微力ながらも残りの教員生活を湘南高校バレーボール部の指導に携わっていく所存ですので、今後とも皆さまのご支援・ご指導を何卒よろしくお願いいたします。

バレー部顧問 吉田 孝(55 回)